

## 平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	18. インクルーシブ教育システム推進事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	単独	計画	0	0	2,087	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	11,505
							基本施策7	心の教育の推進	平成28年度 2,301
									平成29年度 2,301
									平成30年度 2,301
							施策1	心を育てる学習を充実します	平成31年度 2,301
								平成32年度 2,301	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,231

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	2,231

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・ことばの発達に課題のある子供への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。</p> <p>・地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある子供への支援について関係機関が連携し、継続的に行うことのできる体制づくりを行います。</p>	<p>(事業の目的) ・ことばの発達に課題のある子供のニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。</p> <p>・障害の有無にかかわらず、発達に課題のある子供について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。</p>	<p>(事業の効果) ・ことばの発達に課題のある子供への教育的効果を高めることができます。</p> <p>・発達に課題のある子供の成長を支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・関係機関が連携し、障害のある子供への適切な合理的配慮を提供するためには、校内体制の整備をし、教職員の十分な理解が必要です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・学校支援コーディネーターを積極的に活用し、さらに関係者間の連携による支援を充実させます。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・専門性の高い講師を招聘するとともに、リーフレットによる普及をめざします。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	2,181	2,211	△30
08	10	20	△10
11	40	0	40

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	2,231	0	2,231